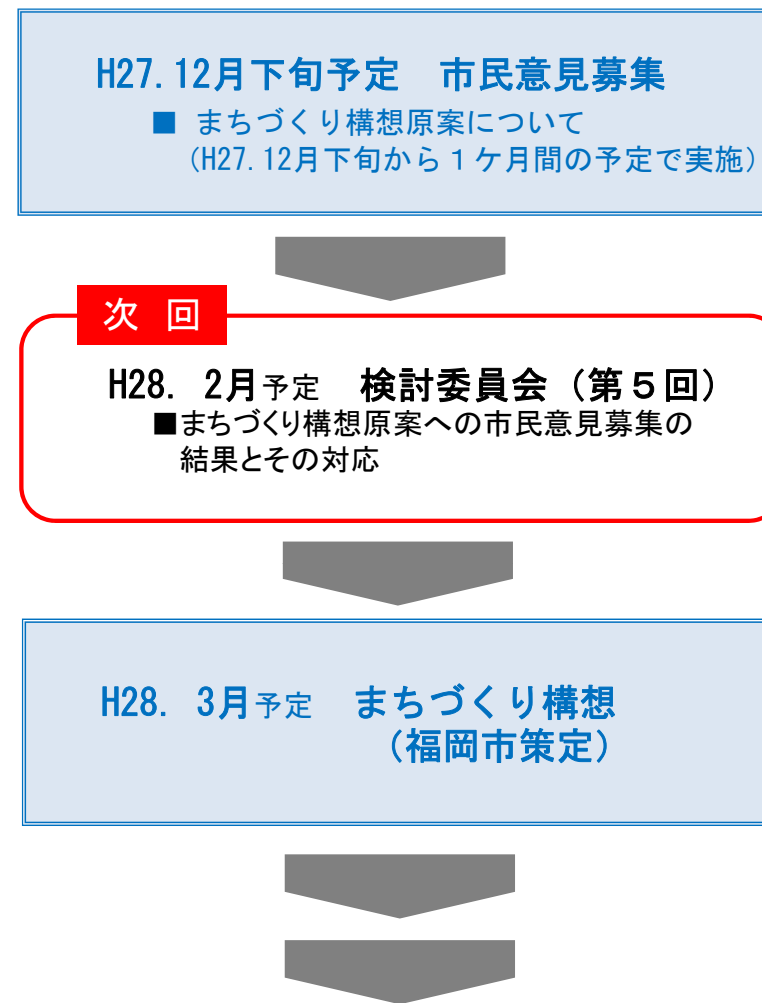




旧大名小学校跡地まちづくり構想検討委員会
第4回資料


平成27年 11月26日

福岡市



策定後は、まちづくり構想を踏まえ、福岡市において計画づくりに取り組む。

第3回検討委員会でのご意見	構想骨子案（変更前）	構想素案（変更後） ※赤字部分は追加・修正箇所
<p>ご意見①</p> <p>★跡地に備える要素の多様性について</p> <ul style="list-style-type: none"> 本委員会の議論の枠組みは、今後の検討課題になることもあるが、地域の観点と広域とか専門的な観点から、非常に貴重な跡地が備えるべき性能とか条件を整理していこうというものである。 まちづくりの方向性としてお互いに相容れない性能を抱えながら、どう共存させていくのが旧大名小跡地活用の難しさであり、次のステップへの引き継ぎを構想の中で明確にしてほしい。 相容れない要素を共存させるためには、機能の組み合わせや空間的なデザインなどで解くのか。また空間をつくって終わりではなく、どのように使い続け、地域の人たちに開くのかも課題。 	<p>3. (4) 旧大名小学校跡地のまちづくりの方向性</p> <p>◎旧大名小学校跡地と周辺地区をつなぎ、人・モノ・コトを集める「マグネット」となるための、“新たな拠点”を形成する視点が重要です</p> <p>◎旧大名小学校跡地には、学校施設が担ってきた役割や歴史の継承をはじめ、地区の特性を活かした個性あるまちづくり、くらしの見えるまちづくり、都市活力を更に高めるまちづくりなどに貢献する7つの要素を備えます</p>  <p>【旧大名小学校跡地に備える要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①歴史文化性 <ul style="list-style-type: none"> まちや人の歴史に新たな付加価値を加え、未来へつなぐ場づくり 校舎や広場空間等を継承し、新たなシンボルとなる空間を創出 ②創造性 <ul style="list-style-type: none"> 大名地区の特性や強みを活かし、人、モノ、コトが交流する創造的な場を創出 若者をはじめ人を育み夢を実現する場づくり ③居住性 <ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで暮らし続けられる、暮らしを支える交流空間づくりや生活環境を悪化させない取り組み ④防災性 <ul style="list-style-type: none"> 住む人や働く人などだれもが安全かつ安心に活動できる、災害時に対応できる防災拠点づくり ⑤一体性 <ul style="list-style-type: none"> 校舎、広場、新たな土地利用による一体性を持った空間を創出 天神地区・大名地区において、跡地の土地利用転換のタイミングを捉えた計画的なまちづくり ⑥回遊性 <ul style="list-style-type: none"> 東西、南北の人の流れを創る回遊拠点として、都市空間(広場)を創出 人を引きつける都市デザインによる魅力づくり ⑦全国のモデルになる <ul style="list-style-type: none"> 学校跡地の活用として、まちづくりのトリガー(きっかけ)となる、持続可能な場づくりに公民学連携で先進的に取り組む <p>6. 今後の検討課題</p> <p>④持続的なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 「公」「民」「学」連携のマネジメントのしくみ 	<p>3. (4) 旧大名小学校跡地のまちづくりの方向性 <P6></p> <p>◎旧大名小学校跡地と周辺地区をつなぎ、人・モノ・コトを集める「マグネット」となるための、“新たな拠点”を形成する視点が重要です</p> <p>◎旧大名小学校跡地には、都心に隣接する小学校跡地という立地特性から、学校施設が担ってきた役割をはじめ、多様な要素を兼ね備えることが求められるため、次の6つの要素を備えます</p>  <p>【旧大名小学校跡地に備える要素】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①歴史文化性 <ul style="list-style-type: none"> 学校が担ってきた地域における中心的な役割をふまえ、まちや人の歴史に新たな付加価値を加え、未来へつなぐ場づくり 昭和4年建築の旧大名小学校校舎や広場等の空間、記憶を継承し、新たなシンボルとなる空間を創出 ②創造性 <ul style="list-style-type: none"> 創造力を育む大名地区の魅力を更に引き出すため、知識創造型産業を担う人や企業が集積する特性や強みを活かし、人、モノ、コトが交流する創造的な場を創出 若者をはじめ人を育み夢を実現する場づくり ③居住性 <ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで幅広い年齢層の人が暮らし続けられる、暮らしを支える交流空間づくりや生活環境を悪化させない取り組み ④防災性 <ul style="list-style-type: none"> 住む人、働く人、訪れる人、子どもから高齢者まで、安全かつ安心に活動できる、災害時に対応できる防災拠点づくり ⑤一体性 <ul style="list-style-type: none"> 校舎、広場、新たな土地利用による一体性を持った空間を創出 更新期を迎えた天神地区・大名地区において、まとまりを持った貴重な空間として、跡地の土地利用転換のタイミングを捉えた計画的なまちづくり ⑥回遊性 <ul style="list-style-type: none"> 広域交通の拠点となる天神地区とつなぎ、東西・南北の人の流れを創る回遊拠点として、都市空間(広場)の創出や、歩きやすい歩行者空間の確保 都心部の回遊性の向上に資する空間創出や、人を引きつける都市デザインによる魅力づくり <p>6. 今後の検討課題 <P10></p> <p>④全国のモデルになる持続的なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校跡地の活用として、今後の福岡を担うまちづくりのトリガー(きっかけ)となる、持続可能な場づくりに「公」「民」「学」連携で先進的に取り組む。 まちづくりの方向性に示す多様な要素が共存できる機能の組み合わせや空間的なデザインを検討する。
<p>ご意見②</p> <p>★まちづくりのテーマの主旨について</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマが共有されるためにも、人を育てる、都市を育てるというテーマがどういう意味なのか、補足説明が必要。(例えば、都市活動を担うなど)大名らしさを表すならば、歴史を未来につなぐ「時代をつなぐ」や子どもと高齢者や住民や来街者などの「人をつなぐ」などもあるのでは。 	<p><4. (1) まちづくりのテーマ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>人を育てる場所、そして都市を育てる場所へ生まれ変わります</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎子どもから大人までが集う「人を育てる場所」を創ります ◎都市を担う人・モノ・コトの交流を促す「都市を育てる場所」を創ります 	<p>4. (1) まちづくりのテーマ <P8></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>人を育てる場所、そして都市を育てる場所へ生まれ変わります</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◎子どもから大人までが集い交流することで「人を育てる場所」を創ります ◎歴史を今・未来へつなぎ、都市活動を担う人・モノ・コトの交流を促す「都市を育てる場所」を創ります

第3回検討委員会でのご意見	構想骨子案（変更前）	構想素案（変更後） ※赤字部分は追加・修正箇所
<p>ご意見③ ★跡地に備えるべき機能、広場イメージについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 跡地が商業施設や南北への回遊路となった時、以前の警固公園のような目の届かない空間になり、治安の悪化や子どもたちはじめ住民が安心して利用できない場所になることを危惧している。 近年、地域には子ども達が増えているが、遊ぶところが全くない。子どもたちのためにも安心して安全な広場を希望している。改めての強調になるが、避難や防災の機能は特に必要。 歴史をつなぐ空間は、広場の空間だけにとどまらないのではないか。歴史をつないできたのは大名小学校である。また、歴史をつなぐ空間としての広場づくりであれば、示されている事例を見る限りイメージが違うのではないかと。 （仮称）ときの広場は、視覚的な開放性を確保しながら、くつろぎや待ち合わせの場としてオアシスのような場になってほしい。 	<p>4.（2）跡地に備えるべき機能のあり方</p> <p>①拠点性を高める機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市の成長を牽引する新たなビジネス創出の拠点 安全・安心な防災と暮らしの拠点 <p>②天神・大名地区の特性を引き出し強化する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> クリエイティブな人や企業、若者や女性が活躍できる拠点 次世代を担う人を育てる拠点 <p>③シンボルとなり交流の中心となる空間</p> <ul style="list-style-type: none"> 回遊拠点として、市民が憩い、やすらぎ、楽しみを体感できる都市空間の創出 歴史を今・未来へつなぐ空間『（仮称）ときの広場』の整備 <div data-bbox="752 628 1391 1002" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※『（仮称）ときの広場』のイメージ</p> <p>人・モノ・コトの交流を促す場として、「（仮称）ときの広場」を備えることで、跡地に導入される様々な都市機能が広場を介して相互に連携し、新たな価値を創出する場づくりをめざします</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>■アオーレ長岡（出典：長岡市HP） 【「ナカドマ」広場面積 約2,250㎡】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>■富山グランドプラザ（出典：富山市HP） 【広場面積 約1,400㎡】</p> </div> </div> </div>	<p>4.（2）跡地に備えるべき機能のあり方 <P8></p> <p>①拠点性を高める機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市の成長を牽引する新たなビジネスを支える機能 ビジネスや観光で訪れる人々への情報提供やおもてなしの機能 多様な人や企業を引きつけ、交流を促す機能 安全・安心な防災と暮らしを支える機能 <p>②天神・大名地区の特性を引き出し強化する機能</p> <ul style="list-style-type: none"> クリエイティブな人や企業、若者や女性の活躍を支える機能 次世代を担う人を育てる機能 <p>③シンボルとなり交流の中心となる空間</p> <ul style="list-style-type: none"> 回遊拠点として、市民が憩い、やすらぎ、楽しみを体感できる都市空間の創出 歴史を今・未来へつなぐ空間として、校舎の活用や『（仮称）ときの広場』の整備 ソフト、ハードの両面で交流の中心となる役割を担う空間づくり <div data-bbox="1473 628 2168 1002" style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※『（仮称）ときの広場』の参考事例</p> <p>シンボルとなり交流の中心となる空間として周辺の施設と連携しながら、交流の場として新たな価値を創出している事例を紹介します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>■丸の内三菱1号館街区</p> <p>丸の内の再開発とあわせ、都心のオアシスとして三菱1号館（復元）に併設された広場</p>  <p>・広場に面してカフェや水・緑が配置され、憩いや賑わい創出の場として、活用されています (出典：三菱地所、福岡市)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>■アオーレ長岡「ナカドマ」</p> <p>周辺施設と連携した「市民交流の拠点」として、市役所庁舎に併設された広場</p>  <p>・あらゆる世代の多様で自発的な活動を実現する場として、活用されています (右写真：誕生祭) (出典：長岡市HP)</p> </div> </div> </div>
<p>ご意見④ ★空間構成のあり方の主旨について</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク軸が東西、南北方向に出ているが、大名とのつながりや天神とのつながりなど、それぞれ意味合いが異なるのではないかと。空間構成という言葉の使い方も含めて補足等が必要。 公共空間は都市機能としても非常に重要。機能する公共空間には条件があり、そういったことも考える必要がある。（仮称）ときの広場も、空間のつながりやにぎわいといった周辺のまちへの影響も考えながらつくっていくべき。 	<p>5. 空間構成のあり方</p> <p>（仮称）ときの広場</p> <ul style="list-style-type: none"> 跡地の中心に配置、憩いと賑わいの拠点 <p>ネットワーク軸</p> <ul style="list-style-type: none"> 西通りの賑わいを引き込み、大名地区と天神地区をつなぐ <p>明治通り沿道ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 天神地区と大濠公園・舞鶴公園地区をつなぐメインストリートとして、緑の連続性などに配慮した風格あるまちなみを形成 <p>えのき通り沿道ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎を活用し、歩いて楽しい賑わいあるまちなみを形成 	<p>5. 空間構成のあり方 <P9></p> <p>旧大名小学校跡地の立地特性を踏まえ、以下の空間づくりを目指します。</p> <p>（仮称）ときの広場</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難場所、市民や来訪者など多様な人が交流し、憩いと賑わいの拠点となる広場空間『（仮称）ときの広場』を跡地の中心に配置します。 <p>明治通り沿道ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 明治通り沿道については、天神明治通り地区のまちなみの連続性に配慮するとともに、天神地区と大濠公園・舞鶴公園地区をつなぐメインストリートとして、緑の連続性などに配慮した風格あるまちなみを形成します。 <p>えのき通り沿道ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> えのき通り沿道については、校舎を活用したまちなみの連続性に配慮し、歩いて楽しい賑わいあるまちなみを形成します。 <p>ネットワーク軸</p> <ul style="list-style-type: none"> 大名地区と天神地区を天神西通りの賑わいを引き込みながら、空間的、機能的につなぎます。